

サンパウロ大学 協定留学 月例報告書（11 月分）

津村 けい



ブラジルの春はあっという間に過ぎ去り、今は梅雨の時期に入りました。この地での生活にもすっかり慣れ、私にとって第二の故郷とも呼べるような愛着が芽生えた頃、1ヶ月半後には帰国だと気付かされます。ここまでの4ヶ月間で得たものは多くありますが、それでもまだ足りないし、もっと深くこの地と向き合いたいという気持ちがあります。

今月は特に悩ましたが、「日本とブラジルの違い」について書いてみようと思います😊

1. バスが2車両編成

サンパウロには2車両のバスが多く走っています。日本のバスに比べると倍の大きさがありますが、朝の通勤ラッシュでは人が乗り込めない程に埋るし、何より運転が荒いので慣れるまでは大変でした🚌

サンパウロのバスは4.4レアル（110円）払えばどこで降りてもいいので観光や通学におすすめです！



2. 学生はどれも半額料金

サンパウロはたくさんの美術館、博物館、公園などの施設がありますが、学生証を見せると半額になります。他にもバスや地下鉄、映画やスポーツ観戦も半額です！ブラジルは学生に優しいな～と感じます。留学中は日本よりも安く遊べるので楽しいです😊

3. あいさつを大切にする

ブラジル人はパーティや集まりに行くとき、その場にいる一人一人にあいさつをします。日本とのあいさつと違い、ブラジルではハグとキスをして「Tudo bem?（元気？）」や初対面の場合はそれに加えて「Prazer（はじめまして）」と伝えることが一般的です。

また、帰るときは日本のように全体に向けてバイバイ！として帰ってしまうととても



冷たい印象になってしまうので、来たとき同様一人ずつまたハグをします。

帰る時には「Até mais!(またね)」「Tchau!(バイバイ)」などと伝えます。時にはこの挨拶に何十分もかかりますが、ブラジル人はあいさつを大切にするため忘れないようにしましょう👋

4. 開放的でフレンドリー

ブラジル人は陽気なイメージがあると思いますが、その通りだと思います。初対面でも一度あいさつを交わしてしまえばあっという間に友達になれます。面白いのは、親戚や友達に家に呼ばれて行くと、みんな自分の家の隅々まで案内を始めるところです。日本にはない文化だと思います。



他にもブラジル人は音楽が大好きで、音が流れると大人も子供もみんな踊り始めます。自分の感情に素直なのでよく口論になる場面をよく見ますが、喧嘩ではなさそうです。

また、ブラジル人は冗談を言うのも大好きで、なかなか頭のきれた冗談を言われては爆笑しています。前は道を歩く鶏を危うく捌かないといけな羽目になりそうでした。冗談はほどほどにして欲しいですね。彼らの仕事以外全てに対して全力な姿勢を見ると私も見習いたいと感じることが多いです。

5. 美の感覚

日本だと女性は肌の色が白くて体は細いのが美しいとされますが、ブラジルは真逆です。女性はジムでお尻と足を鍛え、ある程度太いのが美しいとされます。肌はこんがり焼いて、服は明るい色味が好まれ露出が多いです。



男性の場合はジムで体を鍛え肌を焼き、さらにタトゥーを入れている人が多いです。私がブラジルに着いた時に、あまりにも白くて細いと感じたらしく「病気かと思った」、「爪楊枝かと思った」などと煽られました。今ではブラジルの美味しい食べ物のおかげで太り肌も焦げ、ショックを受けている私の横で「綺麗になったね〜」「まだまだだね〜」と言われるので複雑な気持ちになります。



6. お年寄りに優しい

ブラジル人のお年寄りに対する思いやりはダントツでいいと感じます。満員電車でもお年寄りが入ってきたらみんなで席まで案内するし、スーパーの駐車場もお年寄り専用がたくさんあります。交通機関も無料だし手厚いと感じることが多いです。

長いと思っていた留学生活ももうあと1ヶ月半です。今月はクリスマスと年越しがあります！まだこの国を離れる心の準備はできていませんが、たくさん楽しめます😊